

成果指標				
成果指標	支給金額／認定金額×100			
指標設定の考え方	基準に基づき認定された申請に対し、適切に補助金を支給する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	100%	100%	0	0
実績	100%	100%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業は、国の補助を受け実施しており、保護者への経済的負担の軽減を図り、幼児教育の充実に寄与している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	保護者への経済的負担の軽減を図ることが出来た。国の段階的な幼児教育の無償化方針や平成27年度より施行される「子ども子育て支援法」の動向を注視して、制度の適正な運用・見直しを実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	国より補助限度額の拡充を要請されており、今後制度の見直しを行う必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・手続きを充実していただきたい。・待機児童がないならそれで良いし、金額も県の水準以上あるというのであれば、良いと思う。・国の無償化方針や子育て支援法に準じて、市民の負担が少しでも少なくなるよう、園児・保護者への支援をお願いしたい。・中身についてはあるべき事業だと思う。よろしく願います。
-------------------	---

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	